

2023年9月5日

各位

三井住友信託銀行株式会社

国内総合型インフラファンドの組成について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:地下 誠二、以下「日本政策投資銀行」)および住友生命保険相互会社(取締役代表執行役社長:高田 幸徳、以下「住友生命」)をはじめとする国内の機関投資家および当社を有限責任組合員、インフラストラクチャーGP 株式会社(以下「GP」)を無限責任組合員として、国内の幅広いインフラ事業等を投資対象とする総合型インフラファンドであるジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合(以下「本ファンド」)を組成しましたので、お知らせします。

我が国の産業や社会生活を支えるインフラは、脱炭素化への対応のほか、デジタルインフラの整備や社会インフラの維持・管理・強化といった課題に直面しており、これらの課題解決のために今後多額の資金需要が見込まれています。一方で、国内インフラ領域は投資市場としては未成熟であり、投資家が自らの運用ニーズに沿って、幅広いインフラ事業に投資する機会は限られています。

かかるなか、当社は当グループの有する多様な機能と自らの資本を活用し、国内インフラ領域における資金需要と投資家の運用ニーズとの結節点となり、投資機会の創出・提供を通じて、我が国のインフラ市場が抱える社会課題の解決を推進することを目的に、本ファンドの組成を検討してきました。

本ファンドには、組成趣旨も踏まえ、日本政策投資銀行および住友生命とともに、株式会社千葉銀行および株式会社第四北越銀行も当初出資者として参画頂いたほか、当社も社会課題解決を促進するインパクトエクイティ投資として出資を行いました。本ファンドは、今後約1年間で国内の機関投資家を中心に総額約300億円の募集を行い、安定的なキャッシュフローを創出するさまざまな国内インフラ事業へ投資していく予定です。

また、本ファンドのGPに対しては、当社および株式会社マーキュリアホールディングス(代表取締役:豊島 俊弘)が共同で設立した国内インフラ領域を専門とする投資助言会社であるジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社(代表取締役 CEO:岡村 研二郎)が投資判断に関する助言を行います。

当社は、三井住友トラスト・グループが掲げるパーパス「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」に沿って、社会課題の解決に資する「資金・資産・資本の好循環」の実現を経営の優先課題としています。今後も、継続的なインフラファンドへの取組を通じて幅広い投資家の皆さまとともに投資規模・投資領域を拡大していく方針であり、国内インフラ領域への資金循環を促すことで日本経済の持続的成長の実現を目指していきます。

【ファンド概要】

| | |
|--------------------------|---|
| ファンド名称 | ジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合 |
| ファンド設定日 | 2023年9月1日 |
| ファンド募集総額 | 300億円(予定) |
| 投資家募集期間 | ファンド設定日より約1年間(予定) |
| 投資対象 | 日本の経済成長を支えるインフラに関する「脱炭素」「デジタル」などのインフラ、地域経済の活性化・持続的発展に資する社会インフラにかかるプロジェクトおよび企業 |
| 投資助言者 | ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社 |
| 無限責任組合員 | インフラストラクチャーGP株式会社 |
| 有限責任組合員 (2023年9月1日時点) | 株式会社日本政策投資銀行 住友生命保険相互会社 株式会社千葉銀行 株式会社第四北越銀行 三井住友信託銀行株式会社 |

【投資助言会社の概要】

| | |
|--------|---|
| 名称 | ジャパン・エクステンシブ・インフラストラクチャー株式会社 |
| 本店所在地 | 東京都千代田区 |
| 設立 | 2023年2月21日 |
| 事業内容 | 国内インフラ領域を専門とする投資助言業務 |
| 株主 | 三井住友信託銀行株式会社 株式会社マーキュリアホールディングス |
| ウェブサイト | https://jexi.jp |

以上